

第99回 二科展 巡回展 [広島展]



【テープカット】

(主催者) 中国新聞企画サービス 企画事業部長：江口 淳
 (主催者) 公益社団法人二科会 常務理事：松室重親
 (絵画部代表) 公益社団法人二科会 会員・広島支部長：高藤博行
 (彫刻部代表) 公益社団法人二科会 会友：正司 強
 (デザイン部代表) 一般社団法人二科会デザイン部副理事長：縄田健次
 (写真部代表) 一般社団法人二科会写真部 理事：徳永善彦

■会 期 平成27年1月6日～11日

■会 場 広島県立美術館 地階県民ギャラリー

■展示数

【絵画】	120点 (広島 21点)
【彫刻】	14点 (広島 5点)
【デザイン】	120点 (広島 32点)
【写真】	316点 (広島 180点)
合計	570点 (広島 238点)

例年一月開催が恒例となっている二科広島展、今年は1月6日日本部より松室常務理事をお迎えして広島県立美術館でスタートした。本部理事から直接ご指導を頂ける良い機会とあって、近県の愛媛の同人もオープン初日から来場し、支部間交流も行われました。

昨年からはじめた4部門のギャラリートークは部門を超えて交流しようという試みで、目的の為にはまだまだ工夫が必要であったがおおむね好評であった。途中天候に恵まれない日もあったが、来館者は例年並みの7,000人をわずかに下回るとどまった。

今回は二科100周年、広島巡回展も60周年を迎える重要な展覧会です。さらに充実した作品で盛り上がるべく決意を新たにしました。

▼会場風景(彫刻)
地元作品前でご挨拶



▲会場風景(絵画)
松室常務理事をお迎えして広島、愛媛合同の作品批評会熱心に聞き入る絵画部同人



▲会場風景(写真)
出品者が多い写真部では大勢のギャラリーがおとづれる服装にも新春の気分が



▲会場風景(デザイン)
美術館講堂を展示室に



▲受賞式
後援賞の授与を行う高藤先生



▲懇親会式典風景
公益社団法人二科会を代表してご挨拶をする川内先生

懇親会風景

広島展の懇親会は1月6日、巡回展初日ホテルJALシティ広島で来賓、地元出品者約95名が参加して開催された。

まず総司会の絵画部高松の開会宣言の後、高藤広島支部長の開会挨拶、主催者挨拶として(株)中国新聞社企画サービス企画事業部長江口淳様のお言葉を頂いき、授賞式に入った。

授賞式は後援賞と各部賞の授与が行われ、その後松室先生より激励のお言葉を頂き、祝賀会に入った。

日時：平成27年1月6日(火) (午後5:30~7:30)
会場：ホテルJALシティ広島

■ご来賓

中国新聞企画サービス 企画事業部長：江口 淳
中国新聞企画サービス 企画事業部主任：守友孝博
公益財団法人広島市文化財団 理事長：渡田春男
インターネット美術館 専務理事：原 敏昭

■巡回展後援賞

- 中国新聞社賞
水野 邦夫【絵 画】「祭 赤い空と牛鬼」
- 広島県知事賞
水田 博子【絵 画】「ピエロ(やあ ピエロさん)」
- 広島市長賞
山中 洋明【彫 刻】「空-ku-」
- 広島国際文化財団賞
正司 強【彫 刻】「ねえ、見て」
- 広島市文化財団賞
亀井 秀樹【写 真】「突進」
- 広島県教育委員会賞
井出 隆之【写 真】「しまなみの舞」
- 広島市教育委員会賞
石飛 洋司【デザイン】「B部門 イラスト」
- ひろしまインターネット美術館賞

巡回展スケッチ

正月早々開催の二科広島展は、立付作業が大仕事。今年もは1月6日(月)午後1時、広島支部同人約100人が美術館に集合。午後8時までの7時間、入念な準備と各部の協力の成果が問われる一日である。



▲受付当番(写真)
にこやかな笑顔で来館者を迎える写真部ベテラン会員。今年も無事巡回展がスタートした安堵感が。



▲作業前の集合風景
作業手順・注意事項の確認。いよいよ立付作業に取り掛かる(美術館ロビーにて)



会期中も支部同人は気が休まらない。受付当番もその一つ。ベテラン会員もお疲れ様でした。感謝、感謝。

▲受付当番(絵画)
新人当番に細かく指導する会計係の山根さん